

二酸化炭素排出量について(2019 年確報値・2020 年速報値)

(1) 2019 年度(確報値)と 2020 年度(速報値)の二酸化炭素排出量

表 2019年度の二酸化炭素排出量(確報値)と基準年度、前年度との比較 単位(千 t-CO₂)

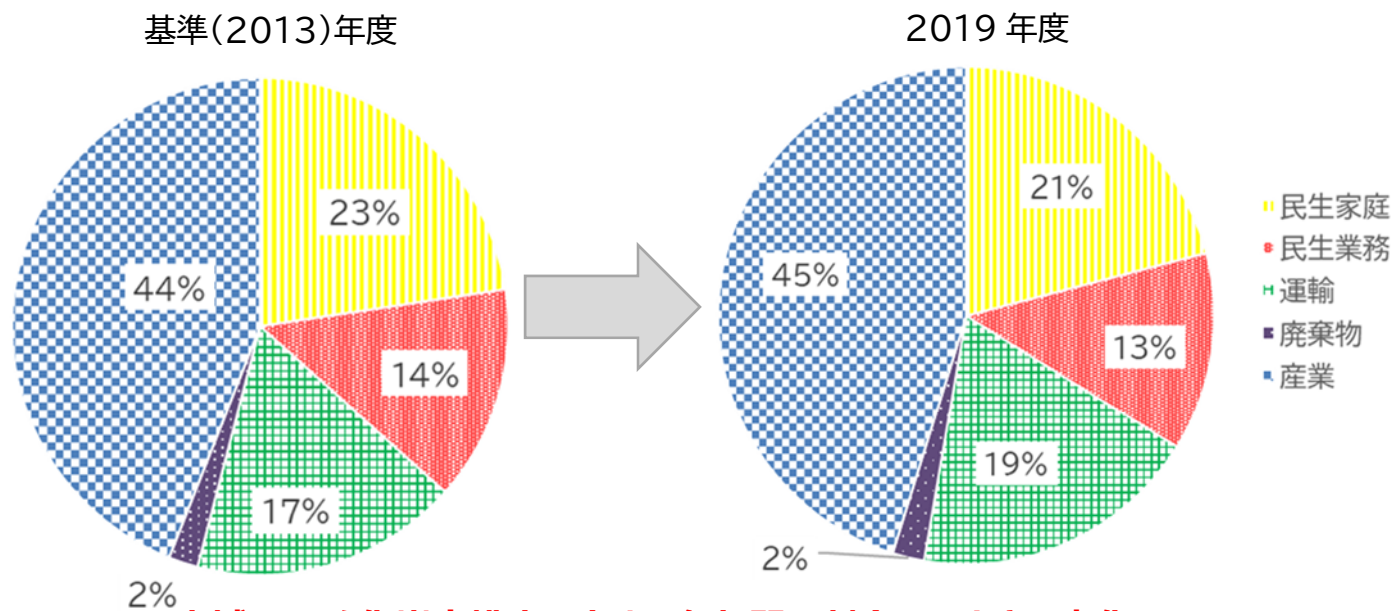
年度	2013 年度 排出量 【基準年度】	2018 年度 排出量 【前年度】	2019 年度			2020 年度 排出量 (速報値)
部門			排出量	基準年度比	前年度比	
民生家庭	647.1	578.7	540.4	-16.5%	-6.6%	523.9
民生業務	400.3	356.9	333.0	-16.8%	-6.7%	328.1
運輸	499.3	491.5	486.6	-2.5%	-1.0%	433.5
廃棄物	55.1	53.4	53.5	-2.9%	0.2%	60.1
産業	1,259.2	1,143.0	1,166.1	-7.3%	2.0%	941.5
合計	2,861.0	2,623.6	2,579.5	-9.8%	-1.7%	2,287.0
基準年度比 【合計】		-8.3%	-9.8%			-20.1%

※ 統計資料の最新値が未公表であるため、2020 年度の運輸部門の鉄道からの排出量の算定にあたっては、2019 年度の数値を代入しています。

※ 数値・比率は四捨五入で計算していることから合計が異なる場合があります。

2019 年度は民生家庭・民生業務部門の排出量減少が進んだ。

図:市域の二酸化炭素排出量の部門割合【2013(基準)年度・2019 年度】



市域の二酸化炭素排出に占める各部門の割合には大きな変化はない

(2) 前年度からの増減理由

表 前年度からの増減理由

部門	増減理由
民生家庭	・ 電力の二酸化炭素排出係数の低下 ・ 電気・LPG・灯油の消費量の減少
民生業務	・ 電力の二酸化炭素排出係数の低下 ・ 電気・都市ガス・灯油・A 重油・C 重油の消費量の減少
運輸	・ 軽自動車等、燃費の良い自動車保有台数の増加
廃棄物	・ 人口の増加 ⇒ ごみの排出量の増加
産業	・ 県全体の製品出荷額に占める本市からの出荷額の割合が増加したため ※ 千葉県全体の製造業における石炭・石油・電気といった分野のエネルギー消費量は前年度から減少。

【参考】 2020 年度までの二酸化炭素排出量の推移

表 基準年度から 2020 年度の二酸化炭素排出量の推移

